

正副会長選定規程改正について

・ 正副会長選挙の電磁的方法による実施（正副会長選定規程 第 12 条、第 15 条の 2、第 17 条、第 18 条、第 19 条、第 22 条）

現規程は、投票所を設置した対面での実施が前提となっており、Zoom 等での遠隔開催は想定していない。対面開催の場合、研究大会や定時総会の準備と同時期の開催となるため、選挙管理者及び学会事務局長に多大な負担がかかり各種業務に支障が生じている。そこで、この課題を解消するため、「電磁的方法」での選挙にも対応する規程に改める。

改正前

（投票方法）

第 12 条 投票の方法は、本章第 2 節に定める投票所における投票又は第 3 節に定める不在者投票とする。

改正後

（投票方法）

第 12 条 投票の方法は、本章第 2 節に定める投票所における投票若しくは第 3 節に定めるクラウド方式の投票管理システム等の電磁的方法による投票又は第 4 節に定める不在者投票とする。

改正前

第 2 節 投票所における投票

（投票所）

第 14 条 投票所は、第 1 回理事会会場など選挙管理者が指定する場所に設ける。

2 投票所の開閉時間は、第 1 回理事会の開会時間内で、選挙管理者が定めるところによる。

（投票用紙及び投函）

第 15 条 選挙人は、投票用紙に記載されている候補者欄に○の記号を自書し、これを投票

箱に入れなければならない。

第 3 節 不在者投票

(不在者投票)

第 16 条 選挙管理者は、第 8 条第 2 項により新理事会の第 1 回理事会に欠席の回答をした理事候補者に対し、不在者投票の期間を定め、その投票手続などについて必要な措置を講じる。

2 不在者投票に投票する選挙人は、選挙管理者が定める投票用紙に記載されている候補者欄のうち 1 名に、○の記号を自書したうえで封筒に封入し、所定の期限までに選挙管理者あてに郵送しなければならない。

改正後

第 2 節 投票所における投票

(投票所)

第 14 条 投票所は、第 1 回理事会会場など選挙管理者が指定する場所に設ける。

2 投票所の開閉時間は、第 1 回理事会の開会時間内で、選挙管理者が定めるところによる。

(投票用紙及び投函)

第 15 条 選挙人は、投票用紙に記載されている候補者欄に○の記号を自書し、これを投票箱に入れなければならない。

第 3 節 電磁的方法による投票

(電磁的方法による投票)

第 15 条の 2 選挙人は、選挙管理者が設定したクラウド方式の投票管理システム等の電磁的方法により、所定の期限までに投票をしなければならない。

第 4 節 不在者投票

(不在者投票)

第 16 条 選挙管理者は、第 8 条第 2 項により新理事会の第 1 回理事会に欠席の回答をした

理事候補者に対し、不在者投票の期間を定め、その投票手続などについて必要な措置を講じる。不在者投票は、郵送方式又はクラウド方式の投票管理システム等の電磁的方法により実施する。

2 不在者投票を郵送方式で実施する場合、不在者投票に投票する選挙人は、選挙管理者が定める投票用紙に記載されている候補者欄のうち 1 名に、○の記号を自書したうえで封筒に封入し、所定の期限までに選挙管理者あてに郵送しなければならない。

3 不在者投票をクラウド方式の投票管理システム等の電磁的方法により実施する場合、不在者投票に投票する選挙人は、選挙管理者が設定した方法により、所定の期限までに投票をしなければならない。

改正前

第 5 章 開票

(無効投票)

第 17 条 第 4 章第 2 節に定める投票所での投票について、次の各号のいずれかに該当する投票は無効とする。

- ① 所定の投票用紙を用いないもの
- ② 一つの職に対し 2 名以上の候補者欄に○の記号を記載したもの
- ③ ○以外の事項を記載したもの
- ④ 白票

2 第 4 章第 3 節に定める不在者投票について、次の各号のいずれかに該当する投票は無効とする。

- ① 所定の投票用紙、封筒を用いないもの
- ② 一通の投票用紙に対し 2 名以上の候補者欄に○の記号を記載したもの
- ③ ○以外の事項を記載したもの
- ④ 白票
- ⑤ 所定の期限までに選挙管理者に着信しなかったもの。なお、郵便事情等による配達遅延の場合でも、選挙期日に間に合わなかったものは無効とする。

改正後

第 5 章 開票

(無効投票)

第 17 条 第 4 章第 2 節に定める投票所での投票について、次の各号のいずれかに該当する

投票は無効とする。

- ① 所定の投票用紙を用いないもの
- ② 一つの職に対し2名以上の候補者欄に○の記号を記載したもの
- ③ ○以外の事項を記載したもの
- ④ 白票

2 第4章第3節に定める電磁的方法による投票について、次の各号のいずれかに該当する投票は無効とする。

- ① 所定の投票管理システムを用いずに投票したもの
- ② 所定の期限までに投票しなかったもの
- ③ 白票

3 第4章第4節に定める不在者投票について、郵送方式で実施される場合には、次の各号のいずれかに該当する投票は無効とする。

- ① 所定の投票用紙、封筒を用いないもの
- ② 一通の投票用紙に対し2名以上の候補者欄に○の記号を記載したもの
- ③ ○以外の事項を記載したもの
- ④ 白票
- ⑤ 所定の期限までに選挙管理者に着信しなかったもの。なお、郵便事情等による配達遅延の場合でも、選挙期日に間に合わなかったものは無効とする。

4 第4章第4節に定める不在者投票について、クラウド方式の投票管理システム等の電磁的方法で実施される場合には、次の各号のいずれかに該当する投票は無効とする。

- ① 所定の投票管理システムを用いずに投票したもの
- ② 所定の期限までに投票しなかったもの
- ③ 白票

改正前

(当選人)

第18条 会長選挙においては、有効投票の最多数を得た者をもって当選とする。ただし、有効投票総数の過半数以上を得票しないときは、直ちに得票数上位2名を被選挙人とする投票（以下「決戦投票」という。）を行い、上位得票者を当選とする。なお、決戦投票は、投票所における投票に限るものとする。

2 当選人を定めるにあたり得票数が同じであるときは、選挙管理者において定めるくじの方法により当選者を決する。前項の得票数上位2名を定めるにあたり得票数が同じであ

るときも、同様とする。

3 第1項に定める決戦投票の結果、有効投票の最多数を得た者が、投票所における選挙人総数の3分の1以上を得票しないときは、再投票を実施するものとする。

なお、再投票は、投票所における投票に限るものとする。

改正後

(当選人)

第18条 会長選挙においては、有効投票の最多数を得た者をもって当選とする。ただし、有効投票総数の過半数以上を得票しないときは、直ちに得票数上位2名を被選挙人とする投票（以下「決戦投票」という。）を行い、上位得票者を当選とする。~~なお、決戦投票は、投票所における投票に限るものとする。~~（取り消し線がある部分を削除）なお、決戦投票の場合、不在者投票による票は有効投票に含めない。

2 当選人を定めるにあたり得票数が同じであるときは、選挙管理者において定めるくじの方法により当選者を決する。前項の得票数上位2名を定めるにあたり得票数が同じであるときも、同様とする。

3 第1項に定める決戦投票の結果、有効投票の最多数を得た者が、~~投票所における~~（取り消し線がある部分を削除）不在者投票した選挙人を除いた選挙人総数の3分の1以上を得票しないときは、再投票を実施するものとする。

~~なお、再投票は、投票所における投票に限るものとする。~~（取り消し線がある部分を削除）
なお、再投票の場合、不在者投票による票は有効投票に含めない。

改正前

(開票)

第19条 開票は、第1回理事会の投票所において、選挙人の立ち会いの下にその面前において、選挙管理者が行う。

改正後

(開票・集計)

第19条 開票と票の集計作業は、~~第1回理事会の投票所において、選挙人の立ち会いの下にその面前において、~~（取り消し線がある部分を削除）公正かつ適切な方法によって選挙管理者が行う。

改正前

(書類保存)

第 22 条 選挙管理者は、投票所の事務終了後直ちに、開票された投票を封入押印し、本会事務局に引き継がなければならない。

2 本会の事務局は、前項の引継ぎを受けた投票を、選挙の期日から 10 年間保存するものとする。

改正後

(書類保存)

第 22 条 選挙管理者は、~~投票所の事務終了後直ちに、開票された投票を封入押印し、~~(取り消し線がある部分を削除) 会長選挙の結果をまとめた書面を本会事務局に引き渡さなければならない。

2 本会の事務局は、~~前項の引継ぎを受けた投票を、~~(取り消し線がある部分を削除) 会長選挙の結果をまとめた書面を選挙の期日から 4 年間保存するものとする。

以 上